

団体名	(一財)都市技術センター	所管局名	建設局
-----	--------------	------	-----

市が法人に求める役割

豊富な経験に基づいた技術力や都市インフラに関する知識・ノウハウを活かした様々な支援や社会貢献事業を行うことにより、下水道、道路、河川、まちづくり事業における技術力の向上、市民への啓発・普及に貢献する。

対応方針

1. 都市技術の普及・継承

公益目的事業として下水道、道路、河川、まちづくりに関する調査研究、市民啓発、情報発信、施設見学、研修会・講演会開催、社会貢献事業等を積極的に展開するとともに、都市技術の普及・継承を行い、当財団の存在価値・信頼を高める。

2. 都市インフラ・まちづくりに関する支援

当財団のもつ技術力・経験を活かし、都市インフラに関する技術支援を公共・民間ともに展開し、下水道、道路、まちづくりのそれぞれの分野の事業で、都市が抱えるさまざまな課題解決や官民連携を支援する。

3. 安定した経営基盤を構築

長年培ってきた駐車場管理運営のノウハウを活かし、高架下月極駐車場を中心に大阪市内外の駐車場の管理業務を積極的に受託するとともに官民の都市インフラ・まちづくりに関する支援業務を継続的に実施し、安定した経営基盤を構築する。また、業務量に見合った経費の削減に取り組んでいく。

戦略目標

① 市民満足度の向上

- 駐車場利用率の向上 (%)
[85.4 (H29)⇒85.7 (H30)]
- 太閤(背割)下水の見学用施設案内者人数(人)
[379人(H29)⇒400人(H30)]

② 都市インフラに関する支援活動

- 支援件数(件)
[53 (H29)⇒54 (H30)]

③ 収益の増加と経費の削減

- 受注額及び駐車場収入(千円)
[392,000 (H29)⇒421,000 (H30)]
- 人件費比率(%)
[40.3(H29)⇒39.3 (H30)]

【参考:中期経営計画の目標値】

様 式 2

中期経営計画に基づく基本方針(目標設定の考え方)

団 体 名	(一財)都市技術センター	所 管 局 名	建設局
-------	--------------	---------	-----

○中期経営計画の概要

中期ビジョン (団体が目指す 中期の到達点)	・周辺自治体や民間企業等への都市インフラに関する技術支援業務を実施し、道路、河川、下水道、まちづくり事業等への支援事業を充実させる。		
中期経営計画名称 (計画期間)	中期経営計画 (平成30年～34年度)	公表先URL	http://www.uitech.jp

○最終年度の到達目標

戦 略	成果測定指標	単 位	最終年度の 到達目標	目標達成のための活動事項
市民満足度の向上	駐車場利用率の向上	%	—	月極駐車場の利用率を向上させ、公共用地の有効利用と駐車対策に寄与する。
	太閤(背割)下水の見学用施設案内者人数	人	—	施設の見学案内者数を増やすため、ホームページの紹介内容を充実させるとともに、区役所・小学校などを通じて見学希望者を募る。
都市インフラに関する支援活動	支援件数	件	—	周辺自治体および民間企業等に対し、都市インフラ支援事業の更なる受注拡大に取り組む。
収益の増加と経費の削減	受注額及び駐車場収入	千円	415,000	都市インフラに関する受注額および駐車場収入の増加に努め、経営基盤を安定させる。
	人件費比率 【人件費/(事業費+管理費)】	%	—	業務量・内容に伴う体制の見直し等を進め、更なる人件費削減に取り組む。

○平成30年度経営目標

1. CS(市民満足)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30目標値設定の考え方 (数値の根拠)
市民満足度の向上	駐車場利用率の向上	%	<u>85.7</u>	—	新規契約を獲得し、前年度実績数以上の利用率を目標とする。 (利用数2,654台/供用枠数3,097台)
	太閤(背割)下水の見学用施設案内者人数	人	<u>400</u>	—	ホームページの紹介内容を充実させるとともに、区役所・小学校などを通じて見学希望者を募る。

2. 財務(健全性、採算性)、効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30目標値設定の考え方 (数値の根拠)
収益の増加と経費の削減	受注額及び駐車場収入	千円	<u>421,000</u>	<u>421,000</u>	都市インフラに関する受注額および駐車場収入の増加に努め、経営基盤を安定させる。
	人件費比率【人件費/(事業費+管理費)】	%	<u>39.3</u>	—	体制の見直し等を行い、前年度比率の削減を目標とする。 (235,656千円/599,633千円)

3. その他(市から自立化するための取組み、法人の経営上重要と認められるもの)

戦略目標	成果測定指標	単位	H30 目標	中計 H30 目標	H30目標値設定の考え方 (数値の根拠)
都市インフラに関する支援活動	支援件数	件	<u>54</u>	—	周辺自治体および民間企業等の道路・下水道等の新規事業を獲得し、前年度実績数以上の件数を目標とする。

様式 3

平成30年度経営目標設定表

団体名	(一財)都市技術センター	所管局名	建設局
-----	--------------	------	-----

○中期経営計画の概要

団体経営者の 考え (H30の課題 と重点目標)	・都市における生活環境の改善・保全推進を使命とし、大阪市や周辺自治体、民間企業等への技術支援として、道路、河川、下水道の維持管理業務やまちづくり事業、駐車場事業など、都市基盤施設を健全に運用する業務の一端を担ってきた。 ・今後は、周辺自治体や民間企業等への都市インフラに関する技術支援業務を実施し、道路、河川、下水道、まちづくり事業等への支援事業を充実させる。
-----------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○平成30年度経営目標

1. CS(市民満足)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
市民満足度の向上	駐車場利用率の向上	%	83.8	<u>85.4</u>	<u>85.7</u>	20	高い	月極駐車場の利用率を向上させ、公共用地の有効利用と駐車対策に寄与する。
	太閤(背割)下水の見学用施設案内者人数	人	<u>612</u>	<u>379</u>	<u>400</u>	10	高い	施設の見学案内者数を増やすため、ホームページの紹介内容を充実させるとともに、区役所・小学校などを通じて見学希望者を募る。

※ H29実績が見込値の場合は斜体で表示

2. 財務(健全性、採算性)、効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
収益の増加と経費の削減	受注額及び駐車場収入	千円	423,872	<u>392,000</u>	421,000	30	高い	都市インフラに関する受注額および駐車場収入の増加に努め、経営基盤の安定を図る。
	人件費比率【人件費/(事業費+管理費)】	%	46.4	<u>40.3</u>	<u>39.3</u>	20	高い	体制の見直し等を進め、人件費抑制を図る。

※ H29実績が見込値の場合は斜体で表示

3. その他(市から自立化するための取組み、法人の経営上重要と認められるもの)

戦略目標	成果測定指標	単位	H28実績	H29実績	H30目標	ウェイト	前年度実績比較	戦略目標達成のための活動事項
都市インフラに関する支援活動	支援件数	件	45	<u>53</u>	<u>54</u>	20	高い	周辺自治体および民間企業等の道路・下水道等の新規業務を獲得し、前年度実績数以上の件数を目標とする。